GLP

Global Business Leadership Development Program

- Asia Round -

ビジネス・ブレークスルー大学大学院
Kenichi Ohmae Graduate School of Business

Think Globally, Act Locally

大前研一が著書“TRIAD POWER”でグローバルビジネスの三大戦略地域として日・米・欧をあげてから30年以上が経ちました。その後、グローバル経済におけるアジアの存在感は極めて大きくなりましたが、**多くの日本企業は未だアジアのビジネスチャンスを活かしきれていません。**

グローバル環境下のマネジメントのキーワードとして**“Think Globally, Act Locally”**がよく言われますが、その両方の視点・能力を持つ人材は非常に少なく、それが企業のグローバル化における阻害要因の一つとなっています。 また世界的なビジネスの環境変化に伴い、**現地のリーダーに求められる能力や役割も近年大きく変化してきました。**

本プログラムは、**“ビジネス実務家によるMBA”**を開学時から提供してきたBBT大学院が培ってきた知と経験と人材を結集した、**『アジアビジネスのマネジャーとして実際のビジネスで結果を出すことができる人材』**の育成に焦点をあてた9ヶ月のプログラムです。

BBTがGLPで目指す人材像

BBTはこれからの時代のアジアビジネスに必要な人材を
GLPを通して育成していきます。

Business Knowledge & Skills

複雑かつ急速に変化するアジアのビジネス環境において、現場での主体的な環境分析・戦略立案・計画実行に必要なビジネス知識とスキルを有する人材

Leadership

異文化・多国籍・英語といった日本と異なる環境において、現地の同僚・取引先・顧客及び本社を巻き込みながらビジネスを成功へ導くための経営者視点・異文化理解・コミュニケーション力とリーダーシップを有する人材

Integrity & EQ

自社の経済的成長だけではなく、ナショナル社員の成長や地域社会の課題解決に貢献することの重要性と責任感・倫理観を有しており、真のグローバルリーダーとしてアジアの発展に寄与することのできる人材

GLPの3つの特徴

1　*アジアビジネスにおける実践的リーダーシップ力の開発*

社会・経済情勢が急激に変化するアジアにおいて、これからのアジアビジネスをリードする実践的な経営人材に必要な能力の開発に焦点を当てています。

具体的には、現地の責任者として主体的に問題解決・戦略立案ができるスキルと経営者視点、現地の従業員・顧客・取引先との良好な関係を築くための異文化環境でのリーダーシップ、それらを日本語に頼らず英語で行う実践的コミュニケーション能力、を開発します。

2　*同じ志を持つ異業種・異業界の仲間とのネットワーク*

アジアビジネスのリーダーとして期待される異業種・異業界の人材と共に、組織や役職を離れて時には助け合い、時には激しい議論を交わして醸成される人的ネットワークは、他では得られることのできない貴重な財産になります。

本プログラムでは、グループワークやディスカッションの機会を多く設け、社内では得られない新しい知見・視点の獲得と、受講生間の深く強いネットワークの構築を目指しています。

3　*受講生個人のニーズに沿った学習計画をテーラーメード*

Elective科目を組み合わせることで受講生個人のニーズに沿った学習計画をテーラーメードできます。深く習得したい知識・スキル（マーケティング・経営戦略・ファイナンス・組織人事等）や英語力の向上（ビジネス英語基礎・ネゴシエーション等）等個人の目的に応じてElective科目を自由に履修できます。またBBT大学の教員との個別カウンセリングなど、自社や受講生自身が抱える課題解決のサポートも行います。

プログラム概要

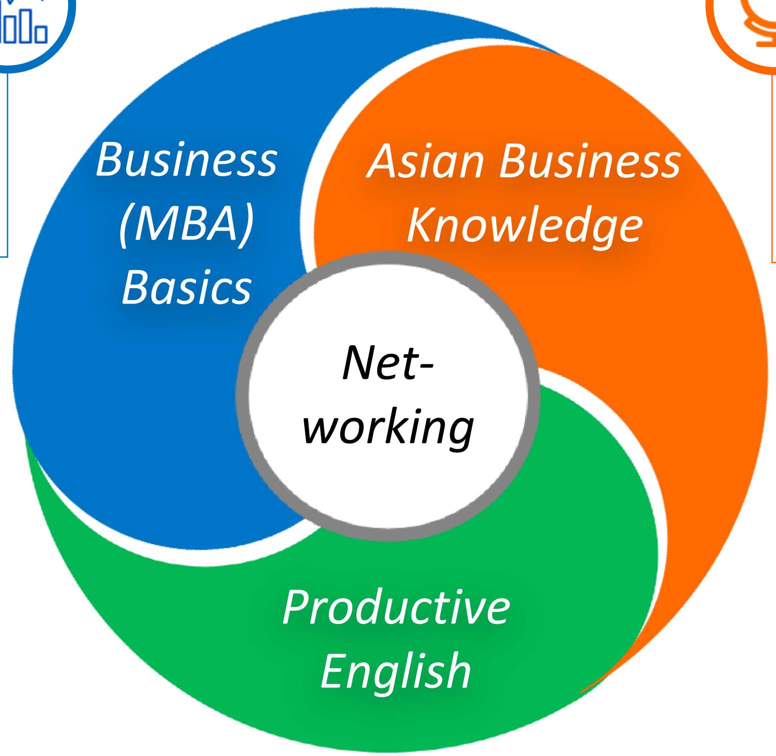
プログラムの目的	アジアビジネスのマネジャーとして実際のビジネスにおいて成果を出すことができるグローバルリーダーの育成
対象者	将来的に、海外現地法人責任者・国際部門責任者等アジアビジネスのリーダーとしての活躍が期待されている人材

Business (MBA) Basics

- 問題発見・戦略的思考力
- ビジネス戦略立案能力
- 戦略家としてのマインド

Asian Business Knowledge

- アジアビジネスの今と将来展望
- アジアでのリーダーシップ
- 現地マネジャーの心得



Productive English

- 英語で議論・発信する力
- 英語環境でのリーダーシップと自信・マインドセット

Networking

- 業界・職種を越えた広い人脈
- グループワークと深い議論によって醸成される強い絆

7つのアプローチ

1 MBAの基礎的なフレームワークを英語で使いこなす訓練

MBAのフレームワークは知っているだけでは価値はありません。英語でアウトプットする訓練を行い、実践で使える能力を養います。

BB PE NW

2 アジアビジネスのケースメソッドを英語で実践

アジアビジネスを題材としたケーススタディを英語で行い、アジアビジネスで使える実践的な能力を身に付けます。

BB AB PE NW

3 アジア市場の知識やビジネスノウハウを先達から学ぶ

学術理論や本からは得られないアジアビジネスのリアルを実際のマネジメント経験者から学び、アジアビジネスのKFSを理解します。

AB NW

4 スタディツアーによる現地市場体験

急速に発展・変化しているアジアの経済・人材・社会を、実際に現地に訪問して体感し、日本では得られないinsightを得ます。

AB PE NW

5 受講者間のネットワーキングと他流試合

グループワークやケーススタディ、スタディツアーなどを通して交流と議論を行い、業界・職種を越えてお互いを高めあう良質な人的ネットワークを構築します。

NW

6 個人のニーズに合わせたプログラムをテーラーメード

Elective Subjectを組み合わせることにより、参加者個別のニーズ（MBA知識、自社課題解決等）に合わせた学習プランが作成できます。

BB AB PE

7 個別カウンセリングの提供

自社課題に関する相談や英語学習での悩みなどの個人的な相談についても、BBT大学院の教員が個別にカウンセリングします。

BB AB PE

BB **Business (MBA) Basics**

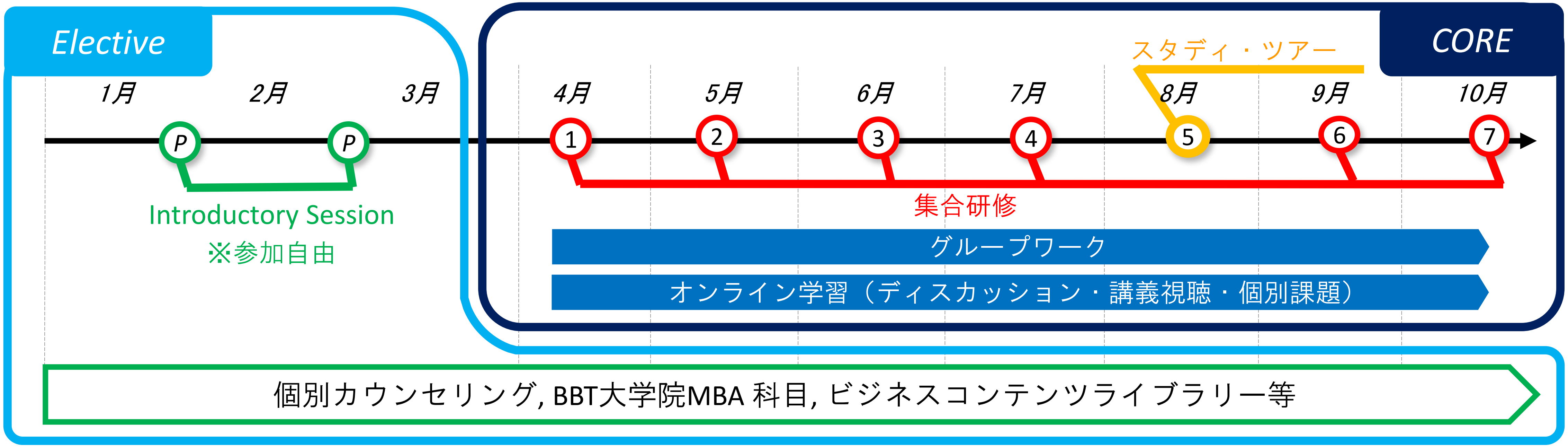
AB **Asian Business Knowledge**

PE **Productive English**

NW **Networking**

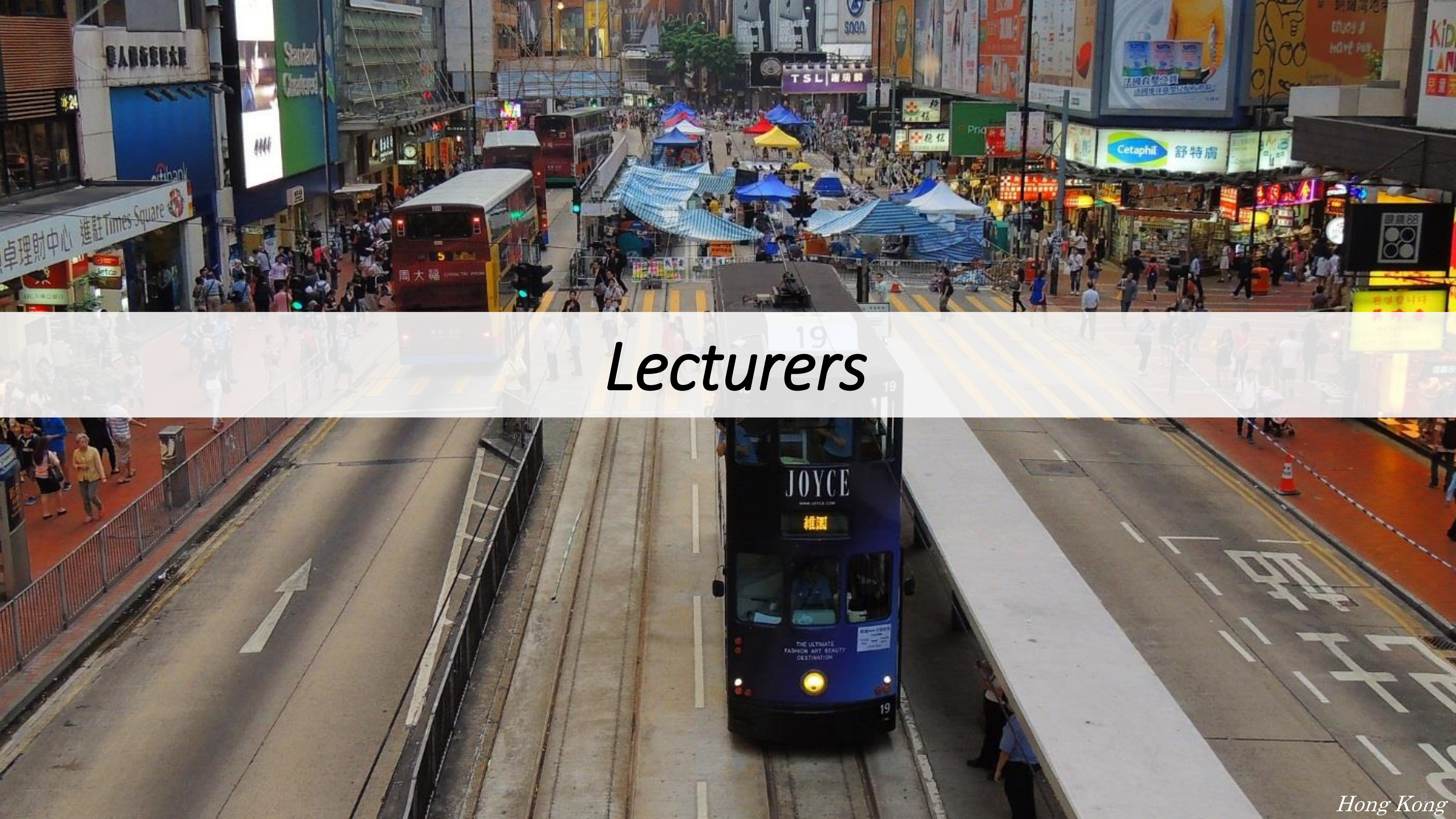
全体スケジュール及び学習時間

CORE	集合研修、グループワーク、オンライン学習、スタディツアーの４パートで構成されており、4～10月の6ヶ月間にわたり実施されます。
ELECTIVE	1～10月の9ヶ月の間であれば好きな時期に受講可能です。また1～3月に実施予定のIntroductory Sessionも追加料金なしで参加できます。



集合研修	スタディ・ツアー	グループワーク&オンライン学習
月1回・合計6回 1-Day×5回（東京・麹町） 2-Day×1回（静岡・熱海）	3泊4日 × 1回 （中国・上海）	週5-8時間 ※目安 ※Core Programのみ

Lecturers



Hong Kong

MBAで学ぶフレームワークや理論は、実践で使いこなして初めて意味があります。

知識として沢山詰め込むのではなく、基本的なものをしかも英語環境で実用的に使えるようにすることを目指します。

私の３０年の経営コンサルティング経験で得たノウハウを皆さんに出来るだけ伝授していきたいと思います。

門永　宗之助

ビジネス・ブレークスルー大学　教授　副学長・経営学研究科長

東京大学工学部化学工学科卒、マサチューセッツ工科大学化学工学修士取得。
千代田化工建設株式会社を経て1986年マッキンゼー・アンド・カンパニー入社。1992年に同社パートナー、1999年にシニア・パートナー。ヘルスケアグループのアジア地域の責任者などを歴任、2009年6月同社退職。2009年3月まで東京大学　工学系研究科　技術経営戦略専攻　臨時講師を務めた。現在は、Intrinsics代表、花王株式会社取締役会議長、株式会社ビジネス・ブレークスルー取締役、株式会社三井住友銀行社外取締役、文部科学省　国立研究開発法人審議会会長なども務める。

Think globallyと並んでAct locallyは企業の海外ビジネス展開にとって重要であり、これを実現するにはローカルナレッジ・ノウハウの取得は欠かせません。

アジアで活躍しているビジネスリーダーの体験談と現地スタディツアーを通じて、皆さんにアジアビジネスの実学を学んでいただきたいです。

私の華僑としての視点からも、皆さんにとって参考になるようなインプットをして参りたいと思います。

張　秋華

ビジネス・ブレークスルー大学　教授

中国上海出身。大阪大学経済学部を首席で卒業、豪州ボンド大学経営学修士取得。
来日留学後日本シティバンクに入社し、個人金融本部でファイナンシャル・アドバイザーを務める。在日華僑に向けた金融サービスを提供する「CitiChinese」を創設し、営業責任者を務める。2002年から2009年までHSBCグループ香港上海銀行 中国業務推進室室長を務め、日本企業の中国ビジネスにおけるグロスボーダー資金調達、キャッシュマネジメント、M&Aなど幅広く担当。2011年から2016年まで慶応ビジネススクール特別招聘教授を務める。現在は藤森工業株式会社社外取締役、NPO中国金融研究会理事などを務める。母国語中国語と上海語の他、英語、日本語、フランス語に堪能。

Kenichi Ohmae Graduate School of Business

ビジネスにおける英語の役割は「自分の考えをわかりやすく伝える」ということに尽きます。

自分の考えをシンプルかつロジカルに英語で発信する技術は事業のグローバル展開に欠かせません。

ビジネス英語という世界標準の「ゲームのルール」を一緒に学んでいきましょう。

青野　仲達

ビジネス・ブレークスルー大学　教授　経営学研究科グローバリゼーションコース長

早稲田大学政治経済学部政治学科卒業、ハーバード大学経営大学院にて経営学修士（MBA）を取得。アメリカン・エキスプレスを経て、1999年に米国ボストンでオンライン英会話の草分けとなったイングリッシュタウンの創業に参画し、2001年に代表取締役として日本支社を設立。2004年に株式会社GABA（Gabaマンツーマン英会話）を設立、2006年に代表取締役として東証マザーズに上場。現在はブルーフィールド株式会社代表取締役として、企業の英語研修支援に携わる。著書に『ハーバード式英語学習法』（秀和システム）、『プロフェッショナル イングリッシュ』（共著、東洋経済新報社）、『５行エッセイ英語学習帳』（コスモピア）などがある。

大前　研一

ビジネス・ブレークスルー大学　学長

1943年福岡県生まれ。早稲田大学理工学部卒業後、東京工業大学大学院原子核工学科で修士号、マサチューセッツ工科大学（MIT）大学院原子力工学科で博士号を取得。日立製作所原子力開発部技師を経て、1972年に経営コンサルティング会社マッキンゼー・アンド・カンパニー・インク入社後、本社ディレクター、日本支社長、常務会メンバー、アジア太平洋地区会長を歴任し、1994年に退社。以後も世界の大企業、国家レベルのアドバイザーとして活躍するかたわら、グローバルな視点と大胆な発想による活発な提言を続けている。。

椿　進

ビジネス・ブレークスルー大学　教授　経営学研究科アントレプレナーコース長

ボストンコンサルティンググループ（ＢＣＧ）、パートナー・マネージングダイレクターとして、ハイテク、情報通信、インターネット、メディア・コンテンツ分野において、事業戦略、Ｍ＆Ａ戦略、新事業立ち上げ、グローバリゼーション等のプロジェクトを実施。95年-96年にはサンフランシスコオフィス勤務。2006年より上場会社代表取締役社長に就任。（株）タカラトミー、（株）竜の子プロダクション、(株）アトラスなどの社外取締役を歴任。

2008年にパンアジアパートナー創業（現アジア・アフリカ・インベストメント&コンサルティング（ＡＡＩＣ）社）。代表取締役社長/代表パートナー就任。中国・東南アジア・インド・中東・アフリカなどの新興国において、新規事業育成、市場参入支援、M&Aおよびパートナー探索支援、事業転換支援など、コンサルティングと投資を通じて実施。日本初の民間アフリカ専用のファンドを組成・運営。

Kenichi Ohmae Graduate School of Business

Nigel Denscombe

ビジネス・ブレークスルー大学　教授

CEO, Denscombe Corporation, 国際大学大学院国際経営学研究科特別招聘教授、名古屋商科大学商学部教授・大学院マネジメント研究科教授、早稲田大学大学院 商学研究科非常勤講師・”Japan New Market Entry” ビジネスプランメンター。グローバル企業の管理職/企業オーナーとビジネス教育者としての2つの顔を持つ新しいタイプの実務家。2001年にビジネスと教育を結ぶ架け橋として東京及びニューヨークを拠点とするDenscombe Corporationを設立。企業やビジネス・スクール等に戦略コンサルティングやビジネス教育ソリューションを提供する。ハーバード大学及び大学院を卒業後(MBA)、バンカーズ・トラストで投資に携わり、バンク・オブ・アメリカで企業金融および資本市場担当のマネージング・ディレクターを務める。

今枝　昌宏

ビジネス・ブレークスルー大学　教授

エミネンスLLC代表。京都大学大学院法学研究科、エモリー大学ビジネススクールMBA課程修了。PwCコンサルティング、日本アイ・ビー・エム、RHJインターナショナル（旧リップルウッドホールディングス）などを経て現職。著書に『ビジネスモデルの教科書』『ビジネスモデルの教科書【上級編】』『サービスの経営学』、共著に『実践シナリオ・プランニング』、訳書に『戦略立案ハンドブック』(すべて東洋経済新報社)などがある。

稲増　美佳子

ビジネス・ブレークスルー大学　教授

株式会社ＨＲインスティテュート　代表取締役社長。Thunderbird School of Global Management（米国サンダーバード大学院）国際経営学修士取得。富士通にて、SEとして総合商社のSIS構築担当。1993年 HRインスティテュートを共同設立 。2003年以降HRIコリア、HRIベトナム、HRIチャイナにて事業展開。ウェイマネジメント支援などのコンサルティングおよびノウハウ ドゥハウシリーズのトレーニングプログラムの開発＆実施に携わる。現在はグローバル化支援プログラムの開発・提携を推進中。また創業時からの哲学として、メコン地域およびマダガスカルの学校教育および医療機関へのサポートを継続実施。HRI著作物の主要執筆メンバー。

大橋　由宏

株式会社フコク取締役執行役員アセアンエリア長兼サイアムフコク㈱代表取締役社長

昭和58年4月ニチメン㈱(現双日㈱)入社、平成9年12月北京駐在員事務所化工部門長、平成13年4月天津法人総経理。平成20年1月双日ジェクト㈱取締役。平成22年5月㈱フコク入社管理本部部長、平成22年10月営業本部副本部長兼海外業務室長、平成24年1月サイアムフコク㈱代表取締役社長・タイフコク㈱取締役、平成24年9月サイアムフコク㈱代表取締役社長・タイフコクパナプラスファウンドリー㈱取締役、平成26年4月執行役員サイアムフコク㈱代表取締役社長、平成28年4月執行役員アセアンエリア長兼サイアムフコク㈱代表取締役社長、平成30年6月取締役執行役員アセアンエリア長兼サイアムフコク㈱代表取締役社長（現職）。

Andrew Abbey

ビジネス･ブレークスルー大学　教授

Founder & Director, Platinum Training Consultant。イギリス、アメリカ、オーストラリアのDeloitte Touche Tohmatsu, PwC, KPMGで国際会計の仕事に従事。2002年に日本に渡ってからは、企業研修トレーナーとして業界・職種問わず多くの企業で研修を実施。その後Platinum Training Consultantを立ち上げ、ビジネスパーソンを中心に実践的な英語でのビジネス・コミュニケーションを指導している。

費用･期間等

受講料	3,000,000円／1名 ※ Study Tour 航空券・ホテル代含む（BBTで一括手配） ※ 消費税別
期間	9ヶ月
定員	20名
問い合わせ先	ビジネス・ブレークスルー大学大学院 GLP担当（秋元・北・山本） E-mail: globalmba@ohmae.ac.jp TEL: 03-5860-5531 URL: https://www.ohmae.ac.jp/lp/glp/